

【行革甲子園2014】

取組市町名

松山市

所属

行政情報課

▽取組事例名

庁内ランキング等によるコピー用紙削減の徹底

▽取組期間

平成23年度～  
(継続中)

▽取組概要

コピー用紙の両面使用率の向上とコピー用紙使用量の削減による経費節減

▽取組みの背景

限られた財源で市民サービスを確保するためのより一層の経費節減と併せ、地球環境保全のための様々な取組が求められるなか、コピー用紙の両面使用の徹底により経費節減とCO2排出量の削減を目的として取組を開始した。

▽取組みの狙い・具体的内容

(取組の狙い)

全庁的なコピー用紙の両面使用率の向上とコピー用紙の使用枚数の削減によって経費を節減し、新たな事業を生み出すための財源を確保するとともに、地球環境の保護に資する。

(具体的内容)

- ①コピー機やパソコンの初期設定を両面とし、両面印刷・両面コピーを原則（市のルール）化。
- ②削減目標の設定及び定期的な集計による庁内公表。
- ③所属ごとの両面使用率の庁内ランキングの実施。
- ④集約印刷機能（2 in 1 など）の積極的な活用。
- ⑤キャッチフレーズ（「紙で保管する文書は課内で共有」、「個々でコピーをしない」、「とりあえずの印刷をしない」）の設定

▽取組みを進めていくなかでの課題・問題点（苦労した点）

- ・事務処理上、慣例的に片面コピーになじんできた職員の意識を改善する必要があるがあった。
- ・窓口業務で片面コピーの枚数が多いなど、業務の性質上、成果が現れにくい部署があった。

## ☆工夫した点

- ・従来の一般的な周知啓発（協力依頼）であれば、職員個人の意識の差もあり高い効果が期待できなかったが、あらかじめ両面使用率やコピー用紙使用枚数の目標値を定めた上で、定期的に集計を行い、その都度、各課への通知や庁内報への掲載による取組の進捗管理を徹底した。
- ・所属ごとの両面使用率を算出し、庁内ランキング方式により、所属長をはじめとするチーム（団体）意識が高まり、競争意識が働いた。
- ・両面使用率の低い部署への個別のヒアリングを行い、実態を把握した上で他課の取組を紹介する等の改善策とともに検討した。

## ▽取組みの効果

### ①経費節減効果

平成23年度：約350万円の経費節減（前年度比）  
平成24年度：約 50万円の経費節減（前年度比）

### ②使用枚数削減効果

平成23年度：約450万枚削減（前年度比12%減）  
平成24年度：約110万枚削減（前年度比 3%減）

## ▽住民（職員）の反応・評価

職員のコスト意識の向上のための一助につながり、なぜ両面印刷にしていないのかといった視点やこれまで片面印刷していた様式を両面印刷に見直すなど各課での工夫が生まれた。

## ☆取組み効果を踏まえたフォローアップ

より一層財政状況の厳しさが増すなか、今後もコスト意識を高く維持しながら、本取組を継続するとともに、少しでも経費節減に繋がる策を絶えず検討していきたい。

## ☆将来的な構想のほか、他団体へのアドバイス

継続した取組には、その意識を継続させる仕掛け（厳密なルール化、ランキング化）と努力（定期的な進捗管理）が必要である。